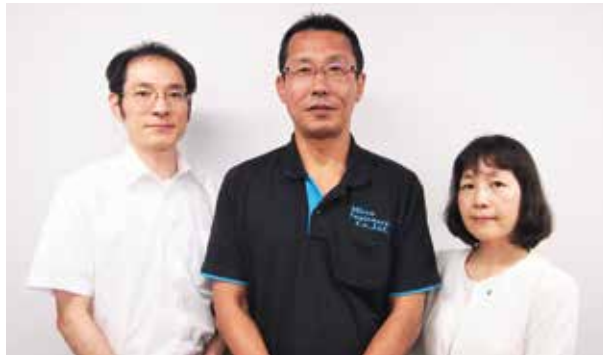




東京都に根を張る“きらぼし銀行”が 中小企業を全方位サポート

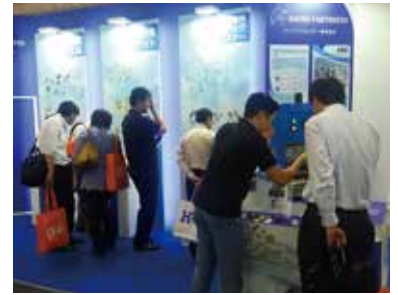
東京きらぼしフィナンシャルグループ・きらぼし銀行は、東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京の合併によって平成30年5月に誕生した地方銀行。東京都をはじめとする数々の公的機関との連携を強化する中、都産技研とも平成28年に連携協定を締結し、中小企業支援を展開しています。そのうちの1社、マイクロファスナー株式会社の事例を紹介します。



左から
都産技研
経営企画部 交流連携室 産業交流係長
中村 広隆

マイクロファスナー株式会社
代表取締役
松村 哲志 氏

株式会社東京きらぼし
フィナンシャルグループ
事業戦略部 連携推進室 室長
岩井 志奈 氏 ※役職は取材時のものです



同社がタイの「メタレックス」で得たノウハウは、その後の展示会で活かされている

技術面・経営面・金融面で 総合的かつ複合的にサポート

都産技研は、平成28年5月に東京きらぼしフィナンシャルグループ・きらぼし銀行（当時、東京TYフィナンシャルグループおよび傘下銀行）と「業務連携に関する協定」を締結しました。技術面・経営面・金融面での総合的かつ複合的な支援を通じて、中小企業の技術的な課題解決に取り組むことを主眼に置いています。

具体的には、都産技研での技術相談、依頼試験、機器利用といった各種事業をきらぼし銀行が中小企業に紹介するスキームを確立したほか、中小企業向けの共催セミナーの開催や、海外展開支援を実施しています。その一つがタイ最大の展示会「メタレックス」(都産技研ブース)への出展支援です。共同で出展する都産技研が出展費用を補助するだけでなく、製品評価など、技術的なサポートも含めた支援を総合的に行います。平成29年11月の開催時には、当時の東京TYフィナンシャルグループから推薦を受け、マイクロファスナー株式会社が出展を行いました。

海外展示会での初のブース出展で 今に生きるノウハウを獲得

マイクロファスナー（株）は平成15年に

設立され、現在の社員数は18名。自動旋盤加工分野のファブレスメーカーとして成長を遂げてきました。売上の約50%は自動車関連部品。国内外に販売先があり、日本国内で製造・供給を行いながら、平成22年以降は、海外で生産を行い日本を経由せず直接中国やタイなどに供給する体制も整備。平成27年にはタイに合弁会社を立ち上げ、初の自社工場を稼働させます。

「従来からタイの日系企業との取引引きがあったことから、生産拠点の確保のために初めて自社工場を保有しました。ただ、タイのビジネス環境は未知の部分も多く、海外展示会への出展経験がありませんでしたので、推薦枠での出展は大きなチャンスでした。結果的に引き合いもあり、パネルの見せ方や多言語での対応方法など、細かいノウハウも得られました。その経験は確実に活かされており、今年出展した海外展示会では引き合いが約80件にものぼりました」(松村氏)

連携協定に基づいた 都産技研の利用が増加中

この「メタレックス」以外でも、都産技研ときらぼし銀行との連携事業は着実に成果を出しています。平成29年度の技術相談などの実績は、前年度の5件から22件へと増加。都産技研が主催するビジネス

マッチングイベント「東京イノベーション発信交流会」にもきらぼし銀行が推薦した2社が参加し、都産技研と国立研究開発法人産業技術総合研究所による共同技術支援プロジェクトにも推薦を行い、2社が採択されました。すなわち、きらぼし銀行を窓口にしてスムーズに都産技研の各種事業を利用し、メリットを享受する中小企業が増加しているのです。

「当社では平成29年にコンサルティング会社を設立したほか、都産技研との連携事業もさらに強化させていきますので、今後もニーズに応じて、多くの中小企業を都産技研にご紹介できればと考えています」(岩井氏)



■ お問い合わせ

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

<http://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

マイクロファスナー株式会社

<http://www.micro-f.co.jp/>

都産技研 交流連携室〈本部〉

<https://www.iri-tokyo.jp/site/kouryu/>

TEL 03-5530-2134

